

広報

えりも

2013

1月号

№.890



新年に向けて

郷土資料館で年縄づくり

十二月五日からの二日間、正月に飾る年縄づくりが郷土資料館で行われ、北緯四十二度の会員を中心に十人が参加しました。

年縄づくりは、会員の西嶋喜一さん（歌別）が指導し、材料のステクサは、七月に会員が町内で採取し、陰干ししたものを使いました。参加者は、輪年縄を数個作ってから、いよいよしめ縄づくりへ挑戦。三人一組で一人が根元を押さえ、あとの二人が力を入れてねじりながら編んで完成させました。見事な出来栄えに参加者も満足そうでした。



3人がかりで力を入れて編んでいきます。



町長 岩本溥叙

町民のみなさん、あけましておめでとうございます。

輝かしい新春を町民のみなさんとともに迎えることができましたことを心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、今年がみなさんにとって健康で明るく希望に満ちた年でありますようお願い申し上げますとともに、日頃から町政のさまざまな分野にわたり、あたたかいご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年暮れの衆議院議員選挙では、民主党の歴史的政権交代と言われた三年前の熱気は去り、自民党が単独過半数の議席を獲得し、熱気な

住みよいまちを 町民とともに。

ばならない問題が山積しています。

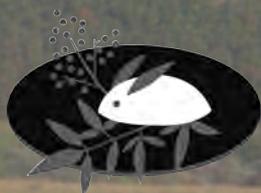
また、町の基幹産業である昆布漁は好天に支えられ、長期間の採取で増産となったものの価格が低いという状況でありますし、前年は極端な不漁に見舞われた秋サケ漁は地域間に格差はあったものの、漁獲量・金額とも前年を上回る結果でありました。

町の事業としては、計画的に住宅環境の整備を進めている公営住宅建替え工事は大和C団地を着工したほか、「放課後児童クラブ（学童保育）」の開設により昼間に保護者が仕事などで家庭にいない児童に対して、安心・安全で健やかな心身の育成について取り組んでおります。また、建設業の振興と雇用の安定を図るための「住宅改修等助成事業」や地元購買力の増加と町内商店の利用促進を図る「プレミアム付き商品券発行事業」への助成。空き家となっていた旧商業店舗を利用し、町民が集う憩いの場所として「えりも町交流館（ひなた）」を開設しました。

新年度においては、引き続き公営住宅（大和C団地）の建替え工事や消防の救急無線をデジタル化するための実施設計委託等大型事業を計画しています。

迎えました本年は、国の内外を問わず激しい変化の時代であり、厳しい政治社会情勢であります。『困難を克服する町政の実現』を目指し、私はこれまで同様、町民のみなさんの声に謙虚に耳を傾け、町民のみなさんの参加によるまちづくり、安心・安全で潤いのある生活重視の施策を優先して推し進めてまいりますので、なお一層のご理解とご支援をお願いするものであります。

町民みなさんのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



12月定例 町議会

十二月二十日に定例町議会が開かれ、町長、教育長の行政報告を始め、一般質問、条例の改正、予算の補正など提出された議案をすべて原案どおり可決して閉会しました。
詳細は、後日発行される「議会だより」に掲載されます。

一般行政報告

▼大洲市との交流

九月二十五日、友好関係にある愛媛県大洲市から清水裕市長ら二十五名の訪問団が来町しました。

大洲市との交流は、「風の館」と旧肱川町の「風の博物館」との姉妹館提携から始まり、これまで両町の文化・物産・人的交流を進めてきたところです。

今回は、大洲市友好都市促進協議会が一般公募した市民とともに訪れたもので、栽培漁業えりもセンターや風の館などの視察を行い、交流会を通して友好促進を図りました。

▼標識寄贈の地域貢献

日胆地区測量設計協会から九月二十八日、創立四十周年記念の地域貢献活動の一環として、町内の小中学校と高校に設置する標高表示板の寄贈を受けました。

▼防災訓練の実施

各学校では、校内で最も目に付く場所に設置し、児童生徒の一層の防災意識の向上に役立てていきます。

西えりも連合自治会で九月三十日、大津波の災害を想定した防災訓練を町との共催で実施しました。

雨の中での訓練となりましたが、住民約四百人が参加し、四か所の一時避難場所に避難しました。

また、沢町自治会では、自治会独自で地震・津波避難訓練を十月二十八日に行いました。

地区住民の自主的に避難する防災意識の向上を図るべく実施されたものであり、町としても地区住民の安心・安全への環境整備を図りたいと考えているところです。

▼マツカワ稚魚の放流

道栽培漁業伊達センターで種苗生産されたマツカワ稚魚三十九万一千匹を、七月に栽培漁業えりもセンターに搬入し、中間育成を開始しま



マツカワ稚魚の放流（光の園幼稚園）

した。

稚魚は順調に飼育され、九月から十月にかけて、管内放流計画数よりも約一一・二割増となる三十八万九千五百匹を放流することができました。

また、マツカワ栽培漁業PR事業の一環として、えりも灯台まつりでは小学生など百五十名が参加して三千五百匹を放流し、九月から十月にかけては襟裳岬以東地域マリナビジョンの一環として、えりも岬小児童が二千匹、庶野小児童及びえりも漁協庶野支所の女性部が三千五百匹を放流しています。このほか、光の園幼稚園児とその父母九十三名が二千

五百匹、笛舞小児童とその父母五十六名が二千五百匹を放流しています。町外では、新ひだか町において、釣り団体との協働による放流が行われ、静内浦和地先より三千匹を放流しています。

なお、そのほかの町内における放流数は、近笛・本町・歌別・東洋・えりも岬地区に七万五千匹、庶野・目黒地区に四万匹となっており、今後のマツカワ資源の増大に大きく期待するものです。

▼海と山の幸フェスティバル

第三十一回えりも海と山の幸フェスティバルを十月七日、スポーツ公園で開催しました。

子ども宝探し、新ゲームのフリสบレーキヤッチ、もちまき大会、お楽しみ抽選会などさまざまな行事が会場を盛り上げ、さらに、えりもの秋の味覚として恒例となったえりも漁協女性部によるサケ鍋のほか、エゾシカ鍋、ツブそばなど、どのブースも長蛇の列ができ、好評を博していました。

サケのつかみ捕りでは、抽選券を例年より三百枚増やした五百枚配布し、昨年より三十名増の百三十名の参加者に楽しんでいただきました。

▼緑化事業

えりも岬の緑を守る会主催の『え

りもワクワク森林づくり植樹祭・講演会くいのちの森づくりリレー植樹』が十月二十二日・二十三日に行われました。

二十二日は町民体育館で「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」よりよい豊かな環境を子孫に残すために」の演題で、宮脇昭横浜国立大学名誉教授の講演が行われました。

宮脇名誉教授は、命を守る森づくりを強調し、さらに、二十一世紀の森づくりとして地震、大津波などに耐え、生物多様性を維持し、地域経済を活性化する森をつくろうと結び、森林関係者を含む百五十名の参加者は感銘を受けていました。

二十三日は、来年えりも岬緑化事業が六十周年を迎えることから、その事前事業として宮脇名誉教授の指導で、百人浜の国有林内に植樹を行いました。強い風雨の中、えりも岬小と東洋小の児童二十四名を含む約二百二十名が参加し、カシワなどの広葉樹九種類千八百五十本の苗木を植樹しました。作業終了後には、エゾシカ鍋が振る舞われ、参加者から大いに喜ばれました。

▼サケの飯寿司づくり体験

えりも地域力発掘協議会主催の「第四回サケの飯寿司づくり体験会」を十一月十日からの二日間実施

し、道内各地から昨年を上回る八十六組百二十二名の参加がありました。初日は栽培センターでえりも地区サケ定置部会長の佐藤勝さんが講師となり、えりも漁協女性部のサポートで、飯寿司づくりの下準備であるサケの三枚おろしと切り身づくりを指導しました。

二日目は、第二町民体育館に会場を移し、毎年一月開催の「つけものコンクール・サケ飯寿司の部」で入賞常連の渡部智佳子さんを講師に招き、前日に続いてえりも漁協女性部にもサポートしていただき、実演映像を見ながら「飯寿司づくり」を体験しました。

この体験事業は、予想以上の人気で、町内の宿泊施設に泊まるなど経済効果もあることから、次年度以降の継続に向けて、さらなる工夫をしていきたいと考えています。

▼交通安全運動

えりも町の交通事故は、十一月末現在で事故発生件数、負傷者数ともに減少しており、「交通事故死ゼロの日」は、同日現在で二千二百四十四日であり、来年八月十三日の二千五百日を目指しています。

今後も、交通事故の根絶のため町としても交通安全運動の啓発に努めます。

▼フツ化物洗口の推進

歯科保健対策として推進しているフツ化物洗口については、北海道から推進重点地域として指定を受けるため、十一月末に浦河保健所に要請を行いました。指定町になると、準備から実施までの過程において、道からの助言や専門職の派遣、さらに薬液や器材の提供が行われます。

今後は、これら道の支援を活用し、実施に向けた取り組みを加速させたいと考えています。

教育行政報告

▼校舎内禁煙

喫煙に対する社会的情勢の変化や教育現場での喫煙に対する町民からのご意見、ご指摘などを総合的に判断し、町内小・中学校における「校舎内禁煙」を平成二十五年一月から実施します。

なお、えりも高校については、すでに道立学校に準じて実施しているところですが、

▼小学校のフツ化物洗口

むし歯予防効果が高い「フツ化物洗口」を小学校に普及するため、十一月に学校関係者ら二十人が出席

し、検討会を行いました。会議では、本年度中に笛舞・えりも・東洋の各小学校で試行実施を行い、次年度から全小学校で行いたいと伝えたところです。

今後は、学校現場と連携を図り、保護者等への説明会を開催して円滑実施となるよう努めます。

▼中学校の武道授業

本年度から必修となった武道について、えりも中学校で「柔道」の授業が十月から実施されています。今後とも、引き続き研修などを通して指導教員の資質向上に努めます。

▼全道へき地複式教育研究大会日高プレ大会

日高管内の九校で来年度の全道研究大会のプレ大会が開催され、当町では笛舞小、えりも岬小の二校で複式学級の公開授業、東洋小、えりも中で実践研究発表会が行われました。

▼中高一貫教育の推進

中高一貫教育は、えりもの緑化事業を体験するフィールド学習、進路ガイダンス、高校一日体験入学、連携型入学者選抜に向けた中学生面談や授業交流等、多くの事業が実施されました。

また、十一月に宮城県仙台市で開催された全国中高一貫教育研究大会に、えりも中学校とえりも高校の教

員各一名が参加しました。

▼えりも高校

①進路指導

進路状況は、十一月二十九日現在、就職内定十二名、進学十八名が合格内定となっており、順調に推移していると考えています。

今後も全員の進路が決定することを目指し進路指導を継続します。

②海外研修

十月十六日から五日間、大韓民国への研修旅行に第三学年三十九名、引率教員五名が参加しました。

在韓日本人女性が暮らす福祉施設「慶州ナザレ園」訪問や、姉妹校の茂山中・高等学校では懇談や合唱交歓、スポーツ交流を通して、相互理解を図りました。

生徒にとつて大韓民国の歴史や風土、文化に触れ、国際的な視野の醸成という大きな財産を得たものと思っております。

③高文連美術展

九月に苫小牧市で開催された道高等学校文化連盟の日胆地区の支部美術展において、美術部の二作品が最優秀賞、一作品が優秀賞を獲得し、旭川市で十月に開催された高文連全道美術展に参加しました。

④バレエボール部が全道ベスト八

十月に新ひだか町で開催された

「全日本バレエボール高等学校選手権大会北海道予選会日高地区予選」で女子バレエボール部が準優勝し、十一月に札幌市で行われた全道大会へ出場しました。

全道大会では、決勝トーナメントに進出し、準々決勝で惜しくも敗れたものの、見事全道ベスト八への進出を果たしました。

▼研修会等の開催

①幼児教育振興会事業

十月三日、NPO法人子育て応援かざぐるまの山田智子代表理事を招いて幼児教育講演会が行われ、幼児を持つ保護者や教育関係者を対象に約五十名が参加しました。

また、十一月六日には人形劇団「えりっこ」による人形劇が行われ、幼児、保護者合わせて百八十名が鑑賞しました。

②全日高女性大会兼えりも町女性大会

第六十回全日高女性大会兼第五十五回えりも町女性大会が十一月四日、福祉センターで開催され、約九十名が参加しました。

午前は、保健福祉課との共催「自殺対策緊急強化事業」として大江病院の大江平副院長による講演を行い、午後からはトーク・フォーキングライブで交流を図りました。

③えりも町PTA連合会研究大会

十一月二十五日の町PTA連合会研究大会には約百名が参加し、明治学院大学の岩辺泰史教授を講師に招き、「子どもの心に本を届ける〜親子で広げる読書の世界〜」と題した講演が行われました。



幼児教育講演会には約50名が参加

④高齢者教室生大会

十一月十日、町内各地区から百八十名が参加し、高齢者教室生大会が開催されました。

ミスター西垣氏による「高齢者と交通安全」と題した手品を交えての講演が行われ、教室生は交通安全への意識の高揚を図りました。また、後半は歌や踊りの交歓会を行い、交流を図りました。

⑤町民生涯学習講座「まなびの広場」

町民の学習機会の拡充を図ることを目的に、町民生涯学習講座「まなびの広場」を本年度も開講しました。健康講座では、十一月十五日に「エアロビクス・体質改善」を実施し、六十名が受講しました。

▼芸術文化鑑賞事業

①えりも町文化祭について

文化協会加盟団体などが日頃の成果を発表する「第四十二回えりも町文化祭」が、展示十二団体、芸能九団体により十月十八日から二十八日までの期間、福祉センターで開催されました。

作品展には、八百四十八点の出品があり、また、二十八日に行われた芸能発表会では、えりも岬小学校の児童による太鼓も披露されました。

②町民芸術文化鑑賞会

音楽グループ「あみゆぜ」による公演が十月二十六日に福祉センターで開催され、二百名の来場者が美声と管楽器による素晴らしい音色を鑑賞しました。同グループは、当日午前にもえりも小学校で演奏会を行いました。

また、十一月七日には、元南極観測隊員の南極料理人・西村淳さんによる文化講演会が福祉センターで開催され、七十名が来場しました。

③日高管内道民芸術祭大正琴音楽祭

第三十六回を迎える日高管内道民芸術祭が、十一月十八日に福祉センターで開催され、日高管内の四つの大正琴サークルが、それぞれの個性を活かした発表を行いました。

▼郷土資料館事業

①各種学習の場の提供

各小学校の社会や「総合的な学習の時間」の学習場所として、郷土資料館・水産の館が活用され、コンブ、水産業、歴史、自然などについて学びました。

体験陶芸教室では、開催曜日などの工夫を行い、町外からの参加者やリピーターも多く、創作する心を育む場として喜ばれました。

自然体験事業では「わらしゃんど・えりもまるごと自然体験」「米づくり体験」が行われ、フットパス、まゆだまづくりなど、ふるさとの伝統や自然を活用した行事を行いました。

②国指定文化財「名勝ピリカノカ」

国指定文化財ピリカノカの一つに指定された襟裳岬をより広く周知するため、六か国語によるDVDとホームページを現在製作中です。

③郷土資料の寄贈

四月から十一月までに、町民有志の方々から四十二点の郷土資料を寄贈していただきました。えりもの歴

史と文化を伝える資料であることから、今後も収集と保存、活用について推し進めたいと考えています。

▼体育の振興

①スポーツ事業

十月八日に陸上競技場で「第三十四回町民マラソン大会」を開催し、幼児から成年までの百七名が参加しました。

②スポーツ団体の活動

えりもバレーボール少年団が、道新カップ小学生バレーボール大会日高地区予選会と北海道スポーツ少年団バレーボール大会日高地区予選で準優勝に輝き、全道大会への出場を果たしました。

また、日高管内レディースソフトボール大会では、えりもウインデイズが優勝しています。

③スポーツ公園施設の利用状況

スポーツ公園の各施設は、四月二十九日から十月三十一日にかけて開館し、二万四千四百三十七人が利用しています。

また、温水プールも四月二十九日から九月三十日までの開館期間に、七千九百九十二人が利用しました。



本物の議会さながらに

第三回子ども議会

小学生から高校生までの各校の代表者が、一日議員となつてまちへの質問や意見を話し合う子ども議会が、十一月二十九日に役場議場で開かれました。

子ども議会は、町百三十年記念事業としてスタートして今年で三回目。冒頭、渡部議長は「今日の体験を基にこれからもうえりも町のことを考えていただけたらうれしく思います」と挨拶

拶。続いて岩本町長も「みんなが『良いまち』と思えるようなまちにお互い頑張つていきましょう」と呼びかけました。

最初に質問した笛舞小五年の谷家大翔君は、シカの接触事故や防波ネットの老朽化を心配し、道路の安全対策の必要性を訴えました。

岩本町長は、町としても大事な問題と話し、シカ対策として有害駆除や侵入防止柵を設置したことを説明。補助事業対象外のため設置できていない一部の国道付近については「道路管理者の北海道開発局に対して要請したが、問題があつて難しい」と伝えました。また、越波対策についても同局からネット補修や支柱の点検を行っているとの回答があつたことを説明しました。

子ども議員からの質問は、観光、防災、通学路の安全対策など十五件にも及びました。



最初に質問した谷屋大翔君

後期高齢者医療制度のお知らせ 高額介護合算療養費及び医療費通知について

■高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、一年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度及び介護保険から支給されます。

なお、手続きには役場窓口（保健福祉課医療給付係）へ申請が必要となります。

- 後期高齢者医療制度又は介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。
- 支給額が500円未満の場合は支給されません。

■医療費通知の送付を希望される方へ

北海道後期高齢者医療広域連合では、発行をご希望される方を対象に、医療費を半年ごとにまとめた医療費通知を送付しています。次回の発行は平成25年3月（平成24年7月～12月）に行います。

◆新たに発行をご希望の方はご連絡ください。

新たに発行をご希望の方は、お手数ですが、北海道後期高齢者医療広域連合又は役場保健福祉課医療給付係へご連絡ください（電話でのご連絡だけで手続きできます）。

- すでに「発行希望」のご連絡をいただいている方につきましては、継続して発行しますので、再度のご連絡は必要ありません。
 - この通知を受け取られたことにより、申請の手続きをする必要はありません。
- ※ この通知を確定申告などの「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。

◆自己負担限度額表

負担割合	区 分		自己負担額の合計の基準額
3割	現役並み所得者		67万円
1割	一 般		56万円
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ（※1）	31万円
		区分Ⅰ（※2）	19万円

【自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日】

※1 世帯全員が住民税非課税である方

※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下）、又は老齢福祉年金を受給している方

お問い合わせ先

北海道後期高齢者医療広域連合
〒060-0062
札幌市中央区南2条西14丁目
国保会館6階 ☎011-290-5601

えりも町役場
保健福祉課 医療給付係 ☎2-4622

地区別町政懇談会

月日	地区・自治会	会 場	開始時間
1/23 (水)	歌別・上歌別	歌別生活館	10：00～
	東洋	東洋生活館	13：30～
	えりも岬・苫別	林業総合センター	15：15～
1/24 (木)	近浦・笛舞	笛舞ふれあい館	10：00～
	西えりも	西えりも生活館	13：30～
	本町・新浜	福祉センター	15：30～
1/25 (金)	大和第1第2・和里	大和共同作業所	10：00～
	庶野	庶野生活館	13：30～
	目黒	目黒生活館	15：00～

●お問い合わせ先
企画課広報係
☎二―四六一二

えりも町が行っているさまざまな事業の説明や、町民みなさんからのご意見、要望などを話し合う場として毎年開催している「地区別町政懇談会」を、次の日程で開催します。
町民みなさんのご参加をお待ちしています。

えりも町の子宮頸がん・乳がん検診の受診率はいずれも**10%台**と低く**10人に1人**の方しか検診を受けていません。がん検診を受けない理由が以下に当てはまる方は、もう一度自分自身の健康について考え、がん検診を受けましょう。

<p>今のところ特に体に異常がないから</p> <p>子宮がんや乳がんの発症初期は自覚症状が全くなく、症状が出始めた時にはがんが進行している場合が多いです。そのため、健康な方こそ検診を受けることが大切です。</p> <p>※不正出血など気になる症状があるときは病院を受診しましょう。</p> 	<p>検診にお金がかかるから</p> <p>がん検診の料金は町で助成されており、安く検診を受けることができます。また無料クーポン券の対象の方は無料で検診を受けることができます。</p> <p>具合が悪くなってから病院に行く方がお金も時間もたくさんかかり、働けなくなると収入が減ってしまいます。がん検診で健康管理をするのがお得です。</p> 
<p>検診に行く時間がないから</p> <p>待ち時間短縮のため検診は完全予約制にしています。また、がんの発見が遅れてしまうと長期療養をしなければならないこともあります。</p> <p>女性がん検診は2年に1回受ける検診です。2年の中でたった1日だけがん検診に時間を使ってみませんか？</p> 	<p>自分のがんにかからないと思うから</p> <p>子宮がんの発症年齢は20歳代から30歳代にかけて最も多くなります。また、乳がんは40歳代から50歳代にかけて急増し、16人に1人が乳がんになっています。</p> <p>がんを他人事だと思わず、がんを身近な存在と捉え検診を受けましょう。</p> 

★がん検診推進事業★～無料クーポン券対象者～

- ・対象となる方には、検診手帳と無料クーポン券を送付しています。
 - ・クーポン券を持参すると無料で検診を受けることができます。
- ※使用期限が平成25年3月31日までなので、町内で検診を受けられるこの機会にぜひご利用ください。
- ・クーポン券が届いていない、紛失された場合には、ご連絡ください。



子宮頸がん検診無料クーポン対象者		乳がん検診無料クーポン対象者	
年齢	生年月日	年齢	生年月日
20歳	平成 3年4月2日～平成 4年4月1日	40歳	昭和46年4月2日～昭和47年4月1日
25歳	昭和61年4月2日～昭和62年4月1日	45歳	昭和41年4月2日～昭和42年4月1日
30歳	昭和56年4月2日～昭和57年4月1日	50歳	昭和36年4月2日～昭和37年4月1日
35歳	昭和51年4月2日～昭和52年4月1日	55歳	昭和31年4月2日～昭和32年4月1日
40歳	昭和46年4月2日～昭和47年4月1日	60歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日

誕生年が偶数年生まれの方は、平成25年の秋、平成26年の冬が検診の対象者となります。検診は、札幌商工診療所に委託しています。

奇数年生まれ・無料クーポン券をお持ちの方

子宮頸がん検診、乳がん検診、

20歳以上の女性ならどなたでも 骨粗しょう症検診

検診日 平成25年 2月16日(土)



受付時間

- ① 7時30分～ 8時00分
- ② 8時30分～ 9時00分
- ③ 9時30分～10時00分
- ④ 10時30分～11時00分
- ⑤ 12時30分～13時00分

会場

保健センター ●完全予約制●

- ◆検診の予約受付期間は、平成25年1月7日(月)～2月8日(金)です。
定員を満たしていない場合は、検診前日まで申込みが可能です。
- ◆お申込みは、役場保健福祉課保健予防係 (☎2-4630) にご連絡ください。

検診名	対象者	料金
けい 子宮頸がん検診 (細胞診)	20歳以上で奇数年生まれの方	1,500円
	子宮頸がん検診無料クーポン券をお持ちの方 ※偶数年生まれの方も受けられます	無料
卵巣エコー検査	子宮頸がん検診を受ける方で希望する方	500円
乳がん検診 (視触診とマンモグラフィ検査)	40～49歳で奇数年生まれの方 (S39年、S41年、S43年、S45年、S47年生まれ)	2,000円
	50～74歳 (S37年生まれ以前) で奇数年生まれの方	1,500円
	乳がん検診無料クーポン券をお持ちの方 ※偶数年生まれの方も受けられます	無料
骨粗しょう症検診 (超音波法：かかとの骨で骨密度を測定)	S17年、S22年、S27年、S32年、S37年、S42年、S47年生まれの方	1,000円
	平成4年以前生まれ (20歳以上) の方で上記以外の生年月日の方	2,500円

※奇数年生まれの方で75歳以上又は生活保護世帯の方
→子宮頸がん検診300円 (卵巣エコー 100円)、乳がん検診400円、骨粗しょう症検診300円

//// 年末年始の収集日程 ////

	清掃センター	埋立処分場
12月26日～28日	8：30～16：30	8：30～16：00
12月29日	8：30～15：00	8：30～15：00
12月30日	8：30～15：00	8：30～15：00
12月31日	8：30～11：30	8：30～11：30
1月1日～5日	休み	休み
1月6日	休み	13：00～16：00
1月7日～	平常どおり	平常どおり

《ごみ収集》

12月26日～28日 平常どおり

12月29日 ※燃やせないごみと資源ごみの収集

○燃やせないごみ（平成25年1月2日の代替収集）

午前：近浦・笛舞・和里・西えりも・本町・中央・沢町

午後：住吉・高見・新栄・みどり・旭ヶ丘・柏台・あけぼの・新浜

○資源ごみ

午前のみ：えりも岬全域・東洋第1～第4・歌別第1～3

→資源ごみは、平常午後の収集も午前中に収集しますのでご協力をお願いします。

12月30日～1月6日 休み

1月7日～ 平常どおり

問い合わせ先 清掃センター
(町民生活課清掃係 ☎2 - 4323)



目録を受け取る岩本町長

十二月十二日、北海道コカ・コーラボトリング株式会社から、クリスマスプレゼントとして、飲料水五百六十四本を寄贈しました。同社の社会貢献活動の一環で、岩本町長は「今回だけでなく、災害時にも無償で提供していただいていたがたく思っています」と感謝を述べました。飲料水は光の園幼稚園と各保育所に寄贈されます。

「コカ・コーラボトリング

飲料水の寄贈

第46回衆議院議員総選挙・第22回最高裁判所裁判官国民審査



開票作業を行う職員

「第四十六回衆議院議員総選挙」と「第二十二回最高裁判所裁判官国民審査」が十二月十六日に行われました。えりも町の投票率は六十六・三七割となり、前回は六十二・一八割下回る結果となりました。小選挙区、比例代表のえりも町における開票結果は、以下のとおりです。

投票率は六十六・三七%

えりも町の投票者数・投票率

選挙当日有権者数	4,335人
投票者数	2,877人
棄権者数	1,458人
投票率	66.37%
前回投票率	78.55%

※小選挙区選挙の結果です。

●小選挙区開票結果

候補者氏名	届出政党名称	投票数
山岡 達丸	民主党	614
堀井 学	自由民主党	1,712
花井 泰子	日本共産党	271
嶋崎 直美	-	123

●比例代表開票結果

名称	投票数	名称	投票数
社会民主党	32	公明党	372
民主党	404	みんなの党	120
自由民主党	884	幸福実現党	12
日本共産党	123	新党大地	501
日本維新の会	259	日本未来の党	55

労働災害の防止に向けて

建設現場安全パトロール

十二月十四日、労働災害防止を目的に、えりも建設協会（菊地竹勇会長）が建設現場安全パトロールを行いました。

パトロールには、浦河労働基準監督署なども同行し、えりも中学校のバックネット改修工事や大和C団地の新築工事を視察しました。同署からは現場が整理整頓とんされていてよかったですと講評されました。



えりもの素晴らしさを知ってほしいと川崎部長（中央）

地元の食材を使って

漁協えりも岬女性部が料理教室

地元の食材のよさを知ってもらい、将来、社会に出た子どもたちがえりもの素晴らしさを広く伝えてほしいと、漁協えりも岬女性部が、えりも岬小五、六年生を相手に料理教室を開きました。子どもたちは、マツカワのピザや衣にコンブの細切りをまぶしたコロッケなどを作り、下級生にも振る舞って喜ばれました。



建設中の大和C団地を視察する一行



授賞式に参加した生徒たち

岡崎さんが奨励賞

中学生人権作文コンテスト

えりも中学校一年の岡崎由季さんが、全国中学生人権作文コンテスト日高地区大会で奨励賞を受賞しました。

管内中学校から百四十三点の応募があった中での受賞で、十二月十二日に賞状を受け取った岡崎さんは「もらえると聞いていなかったからうれしいです」と話していました。



奨励賞を受賞した岡崎さん

いじめをなくそう

標語、ポスター部門で入賞

「いじめ根絶！メッセージコンクール」の標語部門で、えりも高校一年生の小島悠華さんが道青少年有害情報対策実行委員会実行委員長賞と日高教育局長賞、藤田千笑さん（同一年）が奨励賞、ポスター部門の奨励賞に同校生徒会が選ばれました。

十二月七日には、同校で授与式が行われました。

生涯学習だより

えりも遊びリンピック



的をめがけて円盤を投げるディスクチャレンジ



割り箸を紙コップに落とし、入った本数を競うダーツチャレンジ

12月1日、町青少年健全育成会主催による青少年体験事業「えりも遊びリンピック」が、福祉センターで開かれました。

今年初めて開かれたこの大会には、町内の小学生約80人が参加し、全6種目を行い、学年ごとに順位を競いました。

競技の一つである、「ディスクチャレンジ」では、大きく曲がる円盤に子どもたちも一苦勞。見事真ん中の的を射とめると、周りの仲間たちから拍手が沸き起こりました。

国立大雪青少年交流の家の職員も応援に駆け付けて順調に競技は進み、最後のアトラクションでは、5色に分かれた綱を5人同時に引っ張り合う「5色綱引き」が行われ、とても盛り上がりました。

新しい本

図書室だより

《一般書》

- 白ゆき姫殺人事件／湊かなえ
- 鉄砲狩り／佐伯泰英
- 奸臣狩り／佐伯泰英
- 犬とハモニカ／江國香織
- かっこうの親もずの子ども／
 椰月美智子
- 食いっぱぐれない「働き方」
 のテクニック／金子哲雄
- これでわかった！！値段の力
 ラクリ／金子哲雄

《児童書》

- 願いのかなうまがり角／岡田 淳
- 竹細工／全国郷土玩具館 監修
- かにのしょうばい／新美南吉
- 忍者の大研究 秘密を探ろう！
 ／黒井宏光監修
- 王さまめいたんてい／寺村輝夫
- よろしくともだち／内田麟太郎

笛舞小1・2年生の皆さんが、図書室に見学に来ました。

子どもたちからは、「図書室にはどうして本があるの?」「一番、借りられている本は?」等の質問がありました。



《おすすめ本》

55歳からの
ハローワーク
村上 龍 著



多くの人々が、将来への不安を抱えている。だが、不安から目をそむけず新たな道を探る人々がいる。さまざまな彩りに充ちた「再出発」の物語。連作長編。

子育てテレホンサービス ☎2-3715

- 1/11～ 1/17 食欲のない子ども
- 1/18～ 1/24 受験前の子どもの心について考える
- 1/25～ 1/31 判断力を養う
- 2/ 1～ 2/ 7 5歳児の発達(2)

音声テープによるサービスです。電話をかけると音声の流れ、各内容についてのアドバイスを聞くものです。
※会話はできません。

50周年記念大会 えりも町 つけものコンクール

平成25年1月14日(月) 10:00~13:00
福祉センター(大会議室) ※荒天時中止

さまざまな家庭の味が披露されてきた「つけものコンクール」も今回で50回目を迎えました。

今年は50周年を記念して、お寿司で出る「ガリ」の作り方を習う講習会も行います。ぜひ、会場まで足をお運びください。

■内容

10:00~10:50頃 開会式、審査

10:50~11:45頃

ガリ作り講習会 講師:「銀寿司」久慈裕文氏

11:45~12:20頃 表彰式、閉会式

12:20~13:00 試食会

※出品数によって、時間が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※※出品について“必ずご確認ください”※※

●町民の方ならどなたでも参加できますし、何品でも出品可能です。

- ①たくあん ②かぼちゃ漬け ③かす漬け
- ④即席(1週間未満) ⑤工夫(1週間以上)
- ⑥いずし「サケ」 ⑦いずし「その他」

●出品量は多めにし、試食しやすいように小さく切ってご持参ください。

●出品される方は、当日の朝9時30分までに直接会場へご持参ください。

■お問い合わせ先

えりも町女性団体連絡協議会事務局(福祉センター内)

社会教育課社会教育係

(担当:横嶋賢二)

☎2-2526



昨年のつけものコンクール

1月13日は成人式

平成25年成人式は1月13日(日)です。

対象者の参加申込み締切は過ぎておりますが、お問い合わせ等ございましたら、社会教育課社会教育係(福祉センター内 ☎2-2526)まで連絡ください。



生涯学習講座 まなびの広場

「ステンドグラス教室」 のご案内

今回は、「おやすみライト」を作ります。

◆期 日: ①平成25年2月6日

②2月13日

③2月20日 (全3回)

◆時 間: 10:00~12:30

◆会 場: 福祉センター(調理室)

◆参加費: 2,000円(税込)

◆対 象: 一般町民(学生除く)

◆定 員: 10名(先着順)

◆講 師: 田中 清恵 氏

◆持ち物

○木綿又はタオル地のおしぼり程度の捨て布

○工作バサミ

○軍手

◆申込期間

平成25年1月22日 9:00~1月25日 17:00

※先着順です。

◆申込み・お問い合わせ

えりも町生涯学習
推進協議会事務局

(福祉センター内)
社会教育課社会教育係 (☎2-2526)



昨年のステンド
グラス教室

からだ喜ぶ

ビタミンAの働き

- ☆細胞や血管を良好に保つ☆
老化の促進、動脈硬化、ガンを予防します。
- ☆風邪予防☆
鼻、のど・皮膚の粘膜を強くして免疫力を高め、細菌やウイルスから体を守ります。
- ☆視覚(目)を調節する☆
ドライアイ(眼球乾燥症)、暗い所で物が見えにくい、視力低下を予防します。

緑黄色野菜の摂取量が少な
りません。北海道の冬は野菜不足の時期に入
り、家庭では緑黄色野菜の中
でも葉物類の摂取が減り、保存可能
な芋類の摂取が多くなる傾向があ
ります。

冬に不足する栄養素はビタミンA
豊富な緑黄色野菜がとりましよう

こんにちは栄養士です

緑黄色野菜を食べて冬も病気を寄せつけない体を作る

ビタミンAは熱に強いので加熱しても栄養価に変化がないのが特徴です。
鍋料理などに葉物野菜をたくさん入れて食べましょう。

春菊、ほうれん草、にら、小松菜、かぶの葉、チンゲン菜、三つ葉、
人参、ブロッコリー、オクラ、トマト、ピーマン



※妊婦の方の摂取量については、かかりつけ医にご相談下さい。

夏よりも活動量が減り体重が増える時期です。食べ方を見直して冬期間も血管を良好に維持していきましょう。

ると体内に必要なビタミンAの中
も、特にビタミンAの摂取量が不
足します。栄養不足は体調にも影
響しやすいので、ビタミンAが豊
富に含まれる緑黄色野菜を毎日の
食卓に取り入れていきましょう。

1月の保健メモ

(連絡先 役場保健福祉課 保健予防係 ☎2-4630)

行 事	実施日	時 間	会 場
日赤巡回診療	9日(水)、23日(水)	13:30~14:30	保健センター(要予約)
子供料理教室	10日(木)、11日(金)	10:00~13:00	保健センター(要予約)
麻しん風しん混合予防接種	15日(火)	15:30~16:00	町立診療所(要予約)
マミィ〔母親〕教室	17日(木)、24日(木)	13:30~15:30	保健センター(要予約)
乳児健診	22日(火)	9:00~11:00	保健センター(個別通知)
献血		13:30~16:00	保健センター
三種混合予防接種		13:30~13:50	保健センター
B C G 予防接種		13:50~14:00	保健センター
ヒブワクチン予防接種		14:00~14:10	保健センター
小児用肺炎球菌ワクチン予防接種		14:10~14:20	保健センター
ポリオ(不活化)予防接種		14:20~14:40	保健センター
二種混合予防接種		24日(木)	15:30~16:00
離乳食教室	25日(金)	13:30~15:30	保健センター(要予約)
麻しん風しん混合予防接種	2月5日(火)	15:30~16:00	町立診療所(要予約)
乳幼児健診		8:50~11:00	保健センター(個別通知)

●庶野診療所(☎4-2219)

三種混合・BCG・麻しん風しん混合・ヒブ・小児用肺炎球菌、ポリオ(不活化)の個別予防接種

- ①実施日……毎週月・木曜(2日前まで予約)
- ②時 間……14:00~16:00

●浦河日赤病院(☎0146-22-5111)

麻しん風しん混合予防接種

- ①小児科外来申し込み……1期(1~2歳)・2期(小学校入学前1年間の小児)・3期(中学1年生の年齢に相当する者)
- ②医事課申し込み……4期(高校3年生の年齢に相当する者)

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種

小児科外来にお申し込みください。

十一面観音の掛け軸

写真は
えりも岬

地区の旧
家に伝わ
る掛け軸
です。白
ねずみに
十一面観
音に乗っ
ています。

場所だったのでしょ
う。

現在、寺（仏教）と神
社（神道）は別々に設置
されています。江戸時代
以前は神仏習合といい、
仏様と神様が同じ敷地に
奉られていました。「別
當」とは、神仏習合が許
されていた江戸時代以前
に、神社を管理するために
置かれた寺のことです。

「北海道日高国幌泉郡小
越村 別當 撰裳山迦葉
院」と記されています。
江戸時代から「日高国」
という名称は使われてい
ましたが、明治二年（一
八六九年）に、蝦夷地は
北海道に改称、開拓使が
設置され、十一国八十六
郡が定められ、えりも町
は日高国幌泉郡でした。

迦葉院（明治元年・一
八六八年）は曹洞宗、ご
本尊は十一面観音、撰裳
神社（文化十一年・一八
一四年）のご神体は「白
ねずみ」と伝承されてお
り、写真の掛け軸は、二
つの神社の特徴を兼ね備
えたものです。

「小越」は、現在の
えりも岬地区。ア
イヌ語の「オクシ」
が語源で『そこで・
向こうへ渡る・所』
という意味です。
襟裳岬を迂回して、
西の海岸線に抜け



防災
情報版 27

様々な研究も、防災意識の向
上がなければ役に立たない

平

成二十五年（二〇一
三年）が始まりました。

二〇一一年三月十一日
東日本大震災から約二年が
過ぎようとしています。し
かし被災地ではまだまだ震
災・原発事故からの復旧・
復興が進まず、多くの住民
の方々が様々な形で苦勞し
ている状況です。地球の営
みであるこのような巨大地
震をなくすまたは減らす事
は現在の科学ではできません。
世界でも有数の大地震
多発国の一つである日本に
住み続けるためには、巨大
地震災害・大津波災害と共
存していくしかないので
す。今年もえりも町の皆様
とともに地震や津波による
災害を軽減するために頑
張っていきたいと思いま
す。

現在、気象庁による津波
警報・注意報は地震計に記
録された地震波形を解析

し、地震の規模と震央の位
置・深さを推定することで
出されています。第一報が
出された後、さらに詳しい
地震波形解析から、津波到
達時刻や津波のおよその高
さを事前にコンピュータ
で計算された津波波形の
データベースから選び出し
て予想しています。実際の
津波を観測して沿岸の津波
を予想することは行ってい
ません。将来は観測された
津波から直接津波を予測す
るために、国は現在、日本
沿岸の太平洋沖に多くの津
波観測装置を設置すること
を計画しています。完成す
れば、えりも町の沖にも津

波観測装置が設置されるは
ずです。北海道大学地震火
山研究観測センターでは、
それらの津波観測装置で観
測された津波波形から、沿
岸の津波高さや浸水域を精
度よく予測するための手法
の開発研究に取り組んでい
ます。しかし、その様な研
究開発も住民の皆様の防災
意識の向上が無ければ役に
立ちません。北海道大学地
震火山研究観測センターは
えりも町との相互協定の一
環としてこの広報紙「防災
情報版」への投稿を二年近
く継続することができてい
ます。東日本大震災で経験
したことを風化させず、将
来発生する地震・津波災害
に皆様とともに備えていき
ましょう。



谷岡勇市郎

北海道大学地震火山研
究観測センター 地震
観測研究分野 教授・セ
ンター長、PhD。
米国ミシガン大学博士
課程修了後、気象庁気象
研究所研究官、北海道大
学助教授を経て2010年4
月より現職。専門は地
震学（巨大地震・津波）。

お知らせ



司法書士無料法律相談

札幌司法書士会日高支部では、次の日程で無料の法律相談を行います。予約は必要ありません。

- 日時 二月四日 十時～十五時
- 場所 福祉センター
- 相談内容
賃貸借契約、相続登記ほか
- 問い合わせ先
司法書士 山科幸一

☎二・三二七二

トイレに紙おむつや生理用品を捨てるのはやめましょう。

汲み取り式トイレ及び水洗トイレにトイレットペーパー以外のものを入れたり、流したりしているケースが見受けられます。

このことにより配水管が詰まる原因となるばかりか、汲み取りバキューム車や浄化センターの機器の故障の原因となりますので、トイレットペーパー以外の物は絶対に入れないでください。
紙おむつや生理用品については、汚物を取り除き、燃やせるゴミで出してください。

介護ベッドの事故に注意を

介護ベッドの手すり等のすき間に首や腕などをはさむ危険性があります。まずは、ご使用中の介護ベッドが事故対策を講じたものかどうかを製造メーカー等にご確認ください。



狩猟免許試験受付は一月十八日

狩猟免許試験が次のとおり行われます。

- 日時 平成二十五年二月三日

臨時戸籍窓口開設します

日時 平成二十五年一月四日
九時～十五時
場所 役場庁舎一階戸籍係窓口
内容 住民票・印鑑証明・戸籍謄本の証明発行

住民票・戸籍謄本等の証明発行及び印鑑登録を申請される際には、窓口で本人確認をいたしますので、運転免許証などの身分証明をお持ちください。
印鑑証明を申請される場合は、カード(証明用町民カード)をお持ちください。なお、印鑑登録(新規・改印・再交付)は『ご本人』以外は即日手続きできません。

◆お問い合わせ先
町民生活課戸籍係

☎二・四六二一

- 場所 日高合同庁舎 四階講堂
- 受付締切 平成二十五年一月十八日(郵送の場合、一月二十一日までに到着したものに限りです)
- 問い合わせ先
日高振興局保健環境部環境生活課 自然環境係

☎〇一四六・二二・九二五四



ささき りょうや
佐々木龍陽くん
(繁樹・友美)
H24.1.10生(えりも岬)

兄ちゃん3人に日々たくましく鍛えられています☆



やなぎだ かりん
柳田果凛ちゃん
(隆司・順子)
H24.1.5生(えりも岬)

お歌と食べる事が大好きな元気いっぱい女の子です♪



すずき あやね
鈴木朱音ちゃん
(孝・充可子)
H24.1.5生(大和)

わがままでやんちゃな娘です。爺と遊ぶのが大好きです。



いしぐろ はやと
石黒隼人くん
(克哉・真美)
H24.1.2生(本町)

とっても甘えん坊で、とってもいたずらっ子です!

あつまれ!一歳児



すくのみ

「すくのみ」は、「すくすくのみび育って」の願いを込めたタイトルです。

弁護士相談センター無料相談 (事前予約制)

会場	日程	時間
えりも相談所 (保健センター)	1月21日	13:15 ~ 15:45
様似相談所	2月6日	
浦河相談所	1月28日、2月4日	
静内相談所	1月9日・16日・21日・23日・28日、30日、2月4日・6日	13:30 ~ 16:30
予約受付	月曜日～金曜日 / 10:00～16:00 ☎0146-42-8373	

交流館ひなたで
クリスマス会を
行いました



クリスマスカード
を作る子どもたち

12月15日、交流館ひ
なたでクリスマス会を
開きました。

来館した子どもたち
は、クリスマスツリー
の飾り付けやクリスマ
スカード作りを行い、
職員からはお菓子がプ
レゼントされました。

障がい者職業能力開発校の入学
生追加募集

国立北海道障害者職業能力開発校
では、求職中の障がい者の入校生
(訓練期間一年又は二年間)の追加
募集をしています。

問い合わせ先

国立北海道障害者職業能力開発校
☎〇一二五・五二・二七七四

♡ご厚志に感謝します

○石川修さん(東洋)
やまと苑へ

三万円



錦秋きんしゅうや秘湯の露天月明かり
幼な子の帽子にそっと赤い羽根
白髪の陰にすがりし雪ぼたる
秋の雷小気味よきとも怖しとも
落日や海染め暮れて秋惜しむ
ほほどの仕合せに生き木の葉髪

(えりも吟社)

川村 和子
手塚 澄子
長岡 青風
鈴木 周子
蛸名 渚
石森美恵子

○渋谷甲子夫さん(新浜)

やまと苑へ

五万円

新浜自治会へ

五万円

新浜老人クラブへ

三万円

○石井 答さん(近浦)

近浦自治会へ

五万円

○岩崎能久さん(東洋)

近浦老人クラブへ

三万円

○東洋第一自治会へ

東洋老人クラブへ

五万円

○鈴木保美さん(えりも岬)

えりも岬連合自治会へ

五万円

★社協のボランティアセンターへ

石川修さん(東洋)

三万円

北村武彦さん(札幌)

三万円

襟裳岬の初日の出が生中継

襟裳岬の初日の出が、テレビで
生中継されます。

■日時

1月1日(火)

午前6時頃～7時15分頃

■テレビ局

北海道放送(HBC)



みずかみ ゆいと

水上結斗くん

(昌晃・晴美)

H24.1.31生(庶野)

よく食べて、よく遊
んで元気いっぱいです。



もろはし りんか

諸橋鈴歌ちゃん

(和幸・裕美)

H24.1.30生(庶野)

いたずらっ子です。
毎日元気に遊んでいます。



とみい わね

富井寧々ちゃん

(雄介・愛)

H24.1.16生(大和)

とっても甘えん坊で
パパの抱っこが大好きです。

人のうとぎ

(平成24年11月30日現在)

近浦	180人	68世帯
笛舞	297人	118世帯
大和	1,019人	437世帯
本町	910人	400世帯
新浜	710人	311世帯
歌別	368人	138世帯
東洋	395人	131世帯
えりも岬	561人	208世帯
庶野	716人	273世帯
目黒	166人	76世帯
合計	5,322人	2,160世帯
(男 2,655人 女 2,667人)		
転入	3人	転出 9人
出生	5人	死亡 5人

税の納期

◆国民健康保険税 第7期
(納期限 平成25年1月31日)



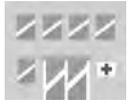
ハタハタ漁 (12月3日・新浜)

町立診療所・庶野診療所の診療表

●受付時間・電話番号

町立診療所(☎2-2265)
8時30分～11時30分
13時00分～16時30分

庶野診療所(☎4-2219)
9時00分～11時30分
14時00分～16時30分



		月	火	水	木	金
		12/31	1/1	1/2	1/3	1/4
町立	内科	休診	休診	休診	休診	休診
	外科					
庶野診						
		1/7	1/8	1/9	1/10	1/11
町立	内科	○	検査日	○	○	午前のみ
	外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		○	○	○	○	○
		1/14	1/15	1/16	1/17	1/18
町立	内科	休診	検査日	○	○	午前のみ
	外科		○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診			○	○	○	○
		1/21	1/22	1/23	1/24	1/25
町立	内科	○	検査日	○	○	午前のみ
	外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		○	13～15時医師不在	○	○	○
		1/28	1/29	1/30	1/31	2/1
町立	内科	○	検査日	○	○	午前のみ
	外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		○	○	○	○	○

○印は午前・午後とも診察

- 町立診療所……①12/28は、内科・外科とも午前診療になります。
②12/29～1/6は、年末年始のため休診となります。
1月の診療は、1/7からとなります。
- 庶野診療所……①1/22は13時～15時まで医師不在となります。

都合により、診療表が急遽変更となる場合もあります。ご了承ください。

防災情報がメールで届きます！

「えりも町防災情報メール」

気象情報の配信も始めました

●アクセス方法

<https://service.sugumail.com/erimo>
QRコードが利用できない場合は、直接
「t-erimo@sg-m.jp」へ空メールしてください。

- 情報利用料は無料ですが、通信料は自己負担です。



1月の行事

26日	16日	13日	12日	5日	1日
15時)と自然体験(町内/9時)	30分・違反14時/16時)	センター/優良13時/13時)	運転免許更新講習(福祉センター)	成人式(福祉センター/11時/13時)	館9時/17時)
高地区予選大会(町民体育館)	全道少年フットサル大会日	11時	福祉センター/9時30分)	消防出初式(消防支署前)	風の館初日の出臨時開館(5時/8時)

北海道・えりも町企画課 住所：北海道幌泉郡えりも町字本町206番地 電話：01466-2-2111

Eメール：erimo@sage.ocn.ne.jp FAX：01466-2-4633 発行日：平成24年12月26日